

# 未来を拓く科学大好き教育 通信

郷土博物館 特別研究員

指導課 特別指導員

岩波 英一

## 「理科室のおじさん」を訪ねて

### その12 日立市立田尻小学校

田尻小学校は、日立市内では 24 番目の小学校として誕生し、今年で創立 35 年目を迎える学校です。

その学校の理科室のおじさん・小林利男さんを訪ねました。小林さんの自宅は学区内で、お子さんたちも田尻小学校の卒業生でお世話になったこともあり、日立理科クラブの方から誘われたことを機会に、何か学校のお役に立てればということで「理科室のおじさん」になったということです。群馬県の渋川出身で、学生時代からテニスに熱中し、会社に入っても、32 歳まで現役で活動を続けていたとのこと。きびきびした発言には、体育会系の昔の経験がそうさせているかのようです。

理科室に入ると、大きな「ヘロンの噴水」の実験装置が置いてあり、中休みに理科室に来る児童のために、

準備してありました。理科室の背面のスペースを利用して、子どもたちが簡単な実験ができるようにたくさんの実験道具が置いてあります。

現役時代は、日製日立工場の火力関係のタービンの設備・品質管理などの生産技術に従事していて、原価低減、生産、設備合理化に関する仕事を中心であったそうです。理科室のおじさんになって感激したことは、学区内に家があるため、登下校で子どもたちに出会う機会が多く、子どもたちが元気に挨拶をしてくれるということです。「子どもたちの元気な笑顔が一番ですね。」と、田尻小に来ることを楽しみにしている様子がにじみ出ていました。田尻小の理科室準備室は、他の学

校よりもかなり広いスペースがあり、その中に、分野別・単元別にきちんと実験装置等が格納されていました。また、学年毎の使用する実験装置一覧が掲示されていて、一目で所在の確認ができるようになっています。

今楽しみなことは、趣味として始めた仲間たちと自然食研究会を立ち上げ、うどん・そば・味噌・どぶろくなどを手造りで作り、自然食のありがたさを堪能していることだそうです。



小林利男さん



ヘロンの噴水

手作り作品



実験コーナー

「どぶろく造りのコツは、麴です。その量の加減で味が違ってきます。みんなで集まって酒の出来具合を試飲するのがとても楽しみなんです。」と、うれしそうにお話をしていました。

— 問い合わせ先 —

Tel 0294(23)3231 FAX 0294(23)3230

IP 電話 050(5528)4928 内線電話 8954

E-mail:hakubutsukan1@city.hitachi.lg.jp

日立市郷土博物館 岩波 英一